

1. 授業の概要

科目：経済学 3・経済思想、後期・火曜 2 限

授業題目：人間の経済（human economy）

授業のキーワード：生計（livelihood）、生活の質（quality of life）、ディーセントワーク（decent work）

授業の目的：現代の経済を人間生活にふさわしい本来の人間の経済へ回復させるという問題意識を基礎に置き、21世紀の経済社会が直面する諸課題と、未来への展望を捉えることができるようになる。

授業の到達目標：(1) 生活や地域社会に関する基礎的な文章を作成することができる。(2) 経済学、生活学、社会政策学等に興味を持つことができる。

愛大学生コンピテンシーとの関連：○個別の知識や技能を相互に関連付けながら習得できる。○習得した知識や技能を基に自分の考えを組み立てたり、適切に表現（記述・口述）できる。

授業概要：20世紀の日本では経済効率至上主義で構築された社会システムのなかにあって、「人間としての尊厳が保障される生活と働き方」が見失われ、家族や地域に本来あるはずの人間同士の支え合いを失うこととなった。本授業では、家事やボランティア活動、非営利企業など非市場領域における経済活動も視野に入れ、すべての人間にとって尊厳ある生き方・働き方を可能とする社会を構築するための方策を探究する。今年度はテキストを用いず、毎回レジュメと資料を配布した。

受講者数：14名（社会科教育専修3年12名、人間社会デザインコース4年2名）

授業の進捗：受講者の熱心な授業参加により、ほぼ当初の計画通りに進行した。

2. 授業評価アンケート：結果と分析

アンケート項目は授業者が作成した。

回答者数：8名

アンケート結果：

(Q1) 本授業は下記の項目のどれに役立ちましたか。

5段階評価（大いに役立った）←→（役立たなかった）

(D P)	5	4	3	2	1
知識の修得	4	4	0	0	0
技能の修得	2	6	0	0	0
思考・判断の修得	5	3	0	0	0
関心・意欲の修得	5	2	1	0	0

(Q2) 毎時限のテーマのなかで地域との繋がりを意識した学習が出来ましたか。

5段階評価（大いに出来た）←→（出来なかった）

(テーマ)	5	4	3	2	1
個人と社会	3	5	0	0	0
家族の役割	3	4	1	0	0
地域の変容	5	3	0	0	0
働くということ	3	5	0	0	0
生活へのまなざし	2	5	1	0	0
人間の経済	2	5	1	0	0

(Q3) 教育学部の「地域志向型カリキュラムの整備・充実」にとって、経済学で特に重要なテーマ（学習課題）だと考えるものを選んでください。複数可。

○子どもの生活（5）○過疎地域問題（5）○青年の生活（4）○雇用問題（4）○貧困問題（3）○高齢者の生活（2）○農林水産業の再生（1）○高速交通（新幹線）整備（0）○グローバル化への対応（0）

○その他（具体的に）（なし）

3. まとめ

アンケートの結果から、本授業は、DPとの関係では「思考・判断・表現」及び「興味・関心・意欲、態度」の修得に役立っている。また地域を直接的にテーマとしなくとも、家族や仕事といった観点からも地域との繋がりを意識した学習が出来ている。子どもの生活や過疎問題などを軸に、今後とも学生の問題意識に沿って、地域の未来に希望の持てる授業内容をつくっていく。